

<平成 27 年度>

市立ひらかた病院の取り組み実績

診療局
看護局
薬剤部
医療安全管理室
医療相談・連携室
事務局
(総務課・医事課・経営企画課)

I 重点施策・事業

◆新病院の整備

平成 26 年 9 月 22 日に新病院を開院し、現在、旧病院の解体工事を進めています。今後、平成 28 年のグランドオープンに向け、土壤汚染状況調査や文化財調査、跡地整備工事（駐車場 179 台、車椅子利用者用駐車場 4 台を整備予定）に着手します。



(グランドオープンイメージ)

実績

- ・平成 27 年 10 月に旧病院解体工事を完了し、平成 28 年 12 月の事業完了に向け、駐車場等整備工事に着手した。

◆病院事業運営の健全化

中期経営計画に基づき、新病院では放射線治療をはじめとするがん治療の充実、内視鏡手術など身体にやさしい医療の更なる充実を図るなど、「急な病気やがんの治療において市民にとって身近で頼りになる病院」をめざす中期的な取組にも力を注ぎます。

また、新病院における経営実績データ（収入及び支出）が蓄積されてきたことから、それらを基に中期経営計画の見直しを行い、経営改善に努めます。

実績

- ・中期経営計画において掲げた「急な病気や、がんの治療において、市民に身近で、頼りになる病院」の実現に向け、3月に「大阪府がん診療拠点病院」の指定を受けた。

◆地域医療連携システムの構築

「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業の1つとして、本市域内の医療資源の有効活用を図り、より良い医療を提供するため、市立病院を含む市内の中核的な病院の間で、情報システムを用いて、患者の診療情報を共有化しようとする『地域医療連携システム』の構築に取り組みます。具体的には、紹介患者情報の一元管理や診療情報提供書等の作成状況をリアルタイムに把握するため、院内の情報システムを整備するとともに、健康医療都市ひらかたコンソーシアムの地域医療連携システム部会において協議を進めます。

実績

- ・12月にひらかた地域医療連携ネットワーク協議会を発足し、3月から「地域医療連携システム」の運用を開始した。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
4 1 .特別会計・企業会計の経営健全化と一般会計繰出金の抑制 ④病院事業会計（経営の健全化）	○資金収支における健全性の維持。 （平成 27 年度決算）
実績	
<p>・収益面では入院・外来ともに患者数が増加し、診療単価もアップしたことから、入院・外来収益ともに増加した。しかしながら費用面では、看護師等の採用を進めたことによる給与費の増加、患者数の増加等に伴う材料費の増加、病院施設や医療機器等に係る減価償却費の増加等により費用も増加したことから、収支においては純損失を計上した。なお、資金不足額は発生せず、資金収支における健全性は維持した。</p>	

<改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
市立病院施設維持管理事業	○患者の療養環境に配慮しつつ、各施設の電気使用量を抑制するよう、効率的な運用に努める。また、照明点灯時間・空調機の運転等を小まめに点検・調整する。なお、改善目標については、平成 26 年 10 月以降の実績をもとに設定する。
実績	
<p>・電気使用量については、平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月の使用量と平成 27 年度、同期間を比較して 10.3%の削減ができた。引き続き節電に努め、効率的な運用を実施していく。</p>	

<業務改善運動のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
7 東病棟の稼働	7 東病棟を段階的に稼働させる。 ・6 月～ 入院患者数制限運用（一般 20 床・感染症 3 床） ・10 月～ 病棟フル稼働（一般 38 床・感染症 8 床）
実績	
<p>・7 東病棟を 6 月から 20 床、10 月からは、残りの 18 床を目標どおり稼働させた。</p>	

テーマ	取り組み内容・目標
病床利用率の向上	80%以上
実績	
<p>・平成 26 年度の 71.9%から 0.5 ポイント増加して 72.4%となったが、目標を達成することはできなかった。</p>	

テーマ	取り組み内容・目標
紹介率の向上	40%以上
実績	
<p>・平成 26 年度の 49.0%から 3.3 ポイント増加して 52.3%となり、目標を達成した。</p>	

テーマ	取り組み内容・目標
医療事故の発生防止	医療事故の発生数 0 件
実績	
<p>・医療事故の発生防止に努めたが、平成 26 年度の 5 件から 2 件増加して 7 件となった。</p>	

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆新病院整備事業費として、工事請負費や委託料など、9億4894万2千円の支出予算を計上しています。

実績

- ・新病院整備事業費の平成27年度当初予算額に対する決算額は、5億2,094万5千円となった。

- ◆地域医療連携システム構築に係る事業費として、4320万円の支出予算を計上しています。

実績

- ・地域医療機関 ICT 連携事業費補助金1,797万円を活用して地域医療連携システムを整備した。平成27年度当初予算額に対する決算額は、3,578万1千円となった。

- ◆医業収益の拡大と医業費用の抑制により、医業収支比率の引き上げに努めます。

実績

- ・患者数の増加や、診療単価の増加に伴い医業収益が増加したことから、医業収支比率は、平成26年度の88.6%から1.6ポイント改善して90.2%となった。

- ◆効率的・効果的な調達・契約、在庫管理の適正化等により、引き続き、医薬材料費対医業収益比率の抑制に努めます。

実績

- ・医療材料費対医業収益比率の抑制に努めたが、平成26年度の14.9%から17.0%に上昇した。

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆大阪医科大学との連携を強化し、必要医師数の確保に努めます。

実績

- ・平成27年度においても、大阪医科大学と連携を図り、必要な医師について確保を行った。

- ◆看護学校・看護大学との連携を強化し、新卒者を中心に、必要看護師数の確保に努めます。

実績

- ・平成27年春には、新人看護師17人を採用した。

- ◆各領域・各職種で、提供医療・サービスの充実に必要な専門性を高めることができるよう職員の専門性の向上と人材育成の強化を図ります。

実績

- ・院内の研修だけでなく、大阪府看護協会や検査技師会などが主催する外部研修にも積極的に参加し、職員の専門性と人材育成の強化を図った。

Ⅴ 広報・情報発信

- ◆院内情報モニターによる情報発信や病院広報誌、掲示物の他、広報ひらかたやホームページ等による情報発信を強化します。

実績

- ・院内情報モニターでは、本院の特色や人間ドッグなどの案内、病院広報紙「かわせみ」では、放射線治療・核医学検査の紹介や病診連携の報告を発信した。
- ・市ホームページでは、新病院の整備状況等を公表した。